



ニュースレター発刊に寄せて



芙蓉園地域包括支援センター長
多田周史

大都市東京においても、「限界集落」（高齢化率が50%を超えた地域）ということが話題になるようになりました。遠い農村過疎地域の話だと思っていたことが、もうわたしたちの隣に起こっているということに改めて驚かされます。私たちも、この「新しい現実」を直視して、地域の皆様方が自分らしく生きていけるように、お手伝いさせていただきたいと願っております。どうか、気軽にお声を掛けていただきますようお願い申し上げます。このニュースレターも芙蓉園地域包括支援センターの役割を知っていただき、地域の皆様に施設全体含め活用していただくためになればと思っております。

センター職員より

飛永純子(とびながじゅんこ)在宅支援課長(社会福祉士)

芙蓉園地域包括支援センターは町田市委託を受けて運営を行っております。担当地域は、つくし野・小川・鶴間の一部です。センターでは「社会福祉士」として勤務しており主に総合相談、権利擁護を担当しています。地域の高齢者やご家族が安心して生活が送れるよう努力して行きます。



若杉正晃(わかすぎまさあき)主任介護支援専門員

センターでは、包括的・継続的ケアマネジメント業務を主に担当しています。これはその方の状態が変わっても必要な支援が受けられる体制を作り、維持することを目的にしております。具体的には、医療保健福祉の連携を図ったり、介護支援専門員の指導・助言を行っております。



市川桂子(いちかわけいこ)保健師等(看護師)

介護予防ケアマネジメント業務を主に担当しています。介護予防には支援を受けるだけでなく、ご本人ができることを自ら行うことが大切です。利用者と共にいまできることを探し、主体的な取り組みが出来るよう意欲をもってもらうことが目標となります。介護予防教室や介護者の会などを行っております。



定期開催プログラム

- ◎いきいき健康アップ体操
毎月 第1、第3金曜日(14:00~16:00)
- ◎家族介護者交流会
毎月 第3火曜日(14:00~16:00)

*参加を希望される方は、お気軽にセンターまでご連絡ください。

トピックス 「tPA」とは？

＊「tPA」は4年前に認可された脳梗塞治療新薬です。この薬を適切に使用すれば、約4割の人がほぼ後遺症なく社会復帰が可能となっています。ただし、発病後3時間以内でないといと脳出血を起こす可能性が高く使用できません。脳梗塞の症状がでたら一刻も早く専門病院に行くことが重要です。南地区では「南町田病院」にtPAが常備されています。もし脳梗塞の兆候が出たら迷わず病院へ行きましょう。時間を空けたり専門外病院にかかるとう治療が遅れることがあるので注意してください。



「ぞくらの会」のボラnteィアさんたちが施設前に花壇を作ってくれました。

脳梗塞の症状

- ①身体の左右どちらかがしびれ力が入らない。
- ②ろれつが回らなくなり言葉が出ない。
- ③片方の目が見えにくくなり視野が狭くなる。
- ④ふらつき立てなくなる。
- ⑤意識がなくなる。

＊これらの症状が出たらすぐに受診しましょう。

介護保険情報

今年度介護保険法が一部変わりました。今回は介護報酬の見直しが主です。国は次の考え方を示しています。1. 介護従事者の人材確保・処遇改善（介護従事者の処遇改善を進めるとともに経営効率へ努力を前提に経営安定化を図る）2. 医療との連携や認知症ケアの充実（医療と介護の機能分化、連携の推進、認知症高齢者等の増加を踏まえた認知症ケアの推進）3. 効率的なサービスの提供や新たなサービスの検証。介護報酬が全体で3%引き上げられました。現在介護保険サービスをご利用の方は1割負担も上がることになります。

新任職員紹介

岩谷信江（いわやのぶえ）相談員



4月より地域包括支援センター勤務となりました。芙蓉園居宅支援事業所ケアマネジャー兼務です。主に介護予防プランと介護予防事業を担当することになります。看護師としての経験を活かし地域の皆様が健康で過ごせるよう微力ながら貢献したいと思います。



芙蓉園地域包括支援センター

住所：町田市鶴間661-8

電話：042-796-2789

FAX：042-799-0079

Webサイト：<http://www.fuyouen.jp/>



次号は夏に発行します。